

2016年7月25日

あおぞら投信株式会社

『これからの 金融村の 発展に

豊かな発想 活かす覚悟を』

昨年(2015年)11月4日、東証一部に同時上場した日本郵政グループ3社は約140万人の株主が存在します。上場から8ヶ月経過した今月(7月)4日の各銘柄の株価(終値)は日本郵政(公開価格:1,400円、初値:1,631円)が1,259円、かんぽ生命(公開価格:2,200円、初値:2,929円)が2,075円、ゆうちょ銀行(公開価格:1,450円、初値:1,680円)が1,195円と、いずれも公開価格を下回っています。

この間、JPX日経インデックス400は昨年11月4日の13,838.52円から11,396.69円へと18%低下していることから、ことさらに郵政グループの株価が低迷しているとは言えません。ただし、今年の1月29日のマイナス金利発表により、あらゆる金融機関は自分たちのビジネスモデルを見直す必要に迫られていることは事実であり、郵政グループも同様だと思われます。同グループのみならず、新規公開株式の評価方法について一概に決めることは難しいものです。新たに公開されるときに、各企業にはそれまで培ったビジネスモデルの強みと弱みがあり、また公開後のビジネス展開の展望があるものです。それを資本市場という公開の場で評価されていくことを選択するということからすれば、その評価はまさに投資家である株主の役割となります。そして我々は金融の立場から、投資家の皆さまに向けてビジネスの展望を示していくことが大切です。2016年丙申(ひのえさる)の年は、物事の始まりの年と言われています。今年も後半に入りましたが来年以降に向けての絵を描くときなのだと思います。

JPX日経インデックス400とS&P500の推移(2013年8月30日～2016年7月21日)



※JPX日経インデックス400は円ベース、S&P500は米ドルベース、いずれも配当を含まない指数です。2015年11月4日を100として指数化しています。
出所：株式会社日本取引所グループ/株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>